

高松市立古高松小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

豊かな心を持ち、夢に向かってチャレンジし、たくましく生きる子どもの育成

【目標】

- 体を動かす楽しみを味わうことで、運動習慣の定着を目指す。
- 合格証や達成賞をその都度配布し、認めることで、自己有用感を高めるとともに、目標に向かってがんばろうとする態度を育成する。
- スポーツ委員会主催の活動を工夫して行うことで、運動に親しみをもてるようにする。

【取組み】

表彰による意欲の向上

なわとび、持久走の取り組みにおいて、各学年団で達成目標・基準を設定し、児童のがんばりや目標達成に対して合格証や達成賞として表彰する。継続して運動に取り組もうとする意欲・態度の育成を図る。

スポーツ委員会主催の運動企画

スポーツ委員会が中心となって、全校生が楽しめるような運動や記録会を企画する。参加意欲を高めるために運動をゲーム化をしたり、表彰したりすることで参加意欲を高めていく。

持久走月間の設定

本校の課題である「20mシャトルラン」の記録向上を図るため、3学期に持久走月間を設定する。基本的に全員の児童が走ることを校内ルールとし、児童全員が運動する機会を確保する。

【現状】

- 休み時間を楽しみにして、毎日元気に体を動かしている児童がいる反面、運動することが楽しくない、苦手であることを理由に、一週間の中で外に出て遊ぶ時間を全くもたない児童も多くいる。また、外遊びの内容のほとんどが「ドッジボール」「鬼遊び」であり、その他の遊びをしていることが少ない。加えて、運動する児童とそうでない児童の二極化が進んでいるとともに、遊び仲間が固定化されていることも課題である。

【本校の課題】

- 令和5年度の体力・運動能力調査、運動週間等調査の結果から、男女共に全ての種目においてほとんどの学年の合計点が県平均を下回っている。
- 休み時間に行う外遊びの内容のほとんどが「鬼遊び」「ドッジボール」であり、その他の遊びをしている児童が少ない。多様な運動ができる場づくりが必要である。